



コモンズTA配置による学修支援と環境整備

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-11-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/15065

コモンズ TA 配置による学修支援と環境整備

学術情報室 大前富美

1. はじめに

近年、大学をめぐる環境の変化に伴い、大学図書館に期待される機能や役割も大きく変化してきている。文部科学省が平成 22 年 12 月に発表した『大学図書館の整備について：変革する大学にあって求められる大学図書館像』¹⁾においては、「電子化の進展と学術情報流通の変化」への対応に加え、「学習、教育、研究活動の変化や新しい動向に対応し、より効率的な支援の展開とともに利用者の情報リテラシー能力向上に積極的に関与する」ことが望まれるとし、その求められる機能・役割として学習支援、情報リテラシー教育に主体となって取り組むことをあげている。

また、中央教育審議会が平成 24 年 8 月に発表した答申『新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて』²⁾においても、学士課程教育の質的転換として「学生が主体的に問題を発見し解を見いだしていく能動的学修（アクティブ・ラーニング）への転換が必要である」とし、それを支える環境としての図書館の充実や環境整備に言及しており、平成 25 年 8 月に科学技術・学術審議会学術分科会学術情報委員会が発表した『学修環境充実のための学術情報基盤の整備について（審議まとめ）』³⁾ではそのための課題や推進すべき取り組みを述べている。

これらを受け、国公立大学では、いわゆるアクティブ・ラーニングをサポートするための環境としてのラーニングコモンズの整備に努めてきた。平成 27 年度文部科学省学術情報基盤実態調査によればラーニングコモンズを設置している大学図書館は全国で 411 館に及び、約 52.8%の大学（国立 86.0%、公立 26.7%、私立 51.7%）が設置していることになる。

2. 本学のアクティブ・ラーニング支援環境について

本学においてアクティブ・ラーニングを支援する施設は、平成 22 年度（平成 23 年 1 月）に C5 棟の旧視聴覚室を改修しラーニングコモンズを開設したのに続き、平成 23 年度には B2 棟の耐震工事に合わせて 1 階のスペースをラーニングコモンズとして改修し、平成 24 年 4 月から利用提供を開始した。C5 棟ラーニングコモンズは学術情報センター図書館に隣接し、B2 棟ラーニングコモンズは共通教育の多くが開講されている B3 棟に加え、生協や学生会館にも近く、学域 1～2 年次生の学内での生活動線上にあり、よく利用されている。なお、初年次の必修科目である「初年次ゼミナール」の授業のなかで、教員が希望したクラス（全体の約 8 割程度）で図書館の利用案内と合わせてラーニングコモンズの利用方法についても説明を行っていることもあり、初年次の学域生の利用が多いが、B2 棟ラーニングコモンズのプレゼンエリア（事前予約可能）では上級生の利用も少なくない。

ラーニングコモンズ入室者数の経年推移については以下を参照されたい。

表1 <ラーニングコモンズ入室者数の推移>

※B2棟は平日のみの開室

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
C5棟ラーニングコモンズ	31,908	43,932	47,367	36,813	32,644
月～金曜日	28,451	38,821	42,538	32,789	28,722
土曜日	1,832	2,716	2,318	2,128	2,228
日曜日	1,625	2,395	2,511	1,896	1,694
B2棟ラーニングコモンズ	—	46,277	42,514	48,088	53,957
平均入館者数/日	—	194	179	202	228

3. 本学学生のニーズアンケート調査結果からー

本学の学生のニーズを探るため、平成24年度に『ラーニングコモンズ・貸出パソコンに関するアンケート』を全学の学生、院生対象に大学ポータルシステムのアンケートシステムを使って実施した。調査項目は、ラーニングコモンズの利用頻度や目的、学修支援に関する要望等である。

- ・実施期間；平成24年9月20日～10月17日
- ・回答数364名
- ・質問用紙は別紙参照

ラーニングコモンズの利用時間延長等の要望のほか、サポートしてほしい学修支援として要望があった上位3位は以下のとおりだった。（複数回答あり）

- 第1位 レポート・論文などの書き方 (184名)
- 第2位 参考文献の調べ方や情報検索の方法 (132名)
- 第3位 授業のとり方やゼミの選び方 (124名)

このアンケート結果からアクティブ・ラーニングを支援するための人的サポートが本学学生のニーズとして少なからずあることが明らかになり、その実現のための方策の検討を開始した。

4. ラーニングコモンズでのTA配置

平成26年度に、本学は文部科学省の「大学教育再生加速プログラム（AP）」事業に採択された。同事業の推進のために設置されたアクティブ・ラーニング専門部会において、B2棟ラーニングコモンズでのTA配置の具体化が検討され、平成27年度から実施することが決定した。

ラーニングコモンズに配置するTA（以下「コモンズTA」という。）の募集にあたっては、その主な業務を以下のとおりとした。

- ① 学域1～2年生を主に対象とした学修支援に関すること
 - ・ レポートの書き方、プレゼンテーションに関するアドバイス

- ・ 学修の進め方についてのアドバイス
- ・ 文献・論文の探し方、読み方についてのアドバイス
- ・ 学内サービス（学生ポータル、学修教育支援サイト等）の案内
- ・ ソフトウェア（Word Excel PowerPoint 等）の活用指導
- ② ラーニングコモンズの管理運営に関すること
 - ・ ラーニングコモンズの管理に関する補助的な作業等
机、いす等の整理整頓
利用マナー違反者への注意等
 - ・ アンケートの実施、FAQ 事例の収集等に関わる補助的な作業

また、配置は授業開講期間中の①10:30～12:30 ②12:30～14:30 ③14:30～16:30 ④16:30～18:30 の各 2 時間 4 交代制とし、業務終了後は日誌の記入提出を義務づけた。

コモンズ TA の募集は、平成 27 年 1 月に、中百舌鳥キャンパスにある各研究科長宛に対象者の推薦を依頼し、工学研究科、生命環境科学研究科、理学系研究科、人間社会科学研究科から合計 14 名の院生をコモンズ TA として決定した。同 3 月には事前研修を実施する等、新学期からのコモンズ TA による学修支援サービスに向けて、AP 事業の主管課である教育推進課とラーニングコモンズを管轄する図書館(学術情報室)が連携協力し準備を進め、同 4 月からサービスを開始した。

5. コモンズ TA による学修支援—業務日誌から—

コモンズ TA から提出された業務日誌の内容から、初年度（平成 27 年度）にどのような相談を受け支援を行ったかを見てみることにする。

まず、相談件数の総数だが、全体で 74 件と決して多くない。これは利用者の学生に、コモンズ TA の存在や役割が十分周知されていなかったことが考えられる。この点については、平成 27 年 6 月と同 9 月に実施した、コモンズ TA と運営に関わる教職員（アクティブ・ラーニング専門部会のメンバーの教員及び教育推進課職員、学術情報室職員）によるミーティングでも少なからず指摘があった。その効果的な打開策の一つとして、コモンズ TA から、「直接質問に来る以外にコミュニケーションをとる手段があればよいのではないか。」との提案があり、後期にはラーニングコモンズ内に質問箱と掲示板を用意、学生からの質問に対し当番のコモンズ TA が回答したものを掲示板に貼り出すこととした。結果として、潜在的な質問を促すだけでなく、掲示板で

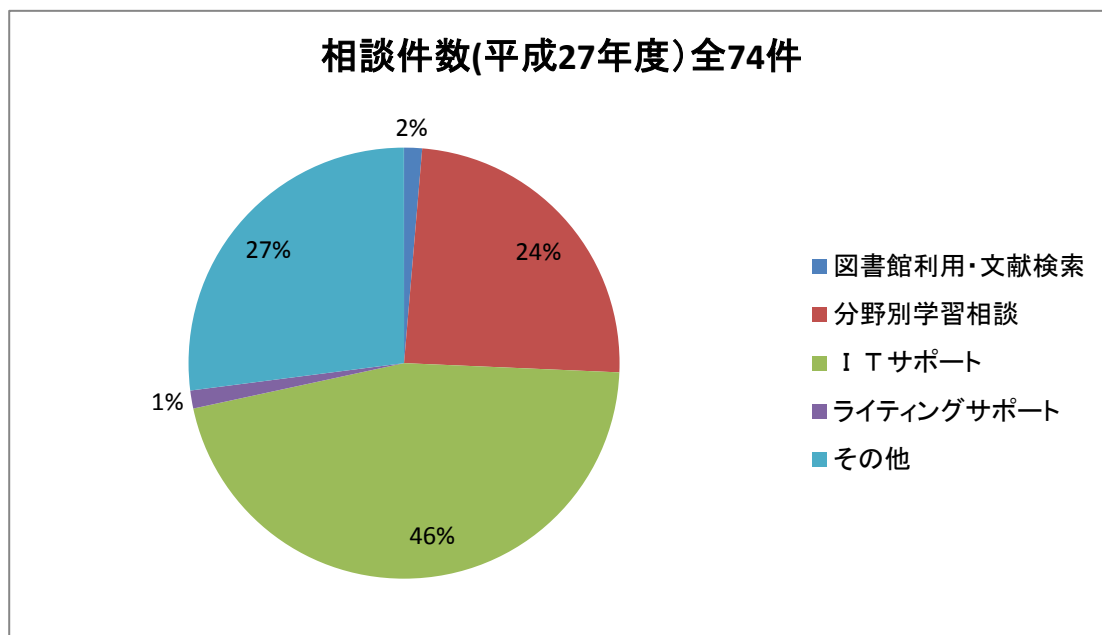


< 質問箱と掲示板 >

公開することで、コモンズ TA の存在を広報する役割を果たしたといえる。

次にどのような相談が多かったのか、文部科学省の学術情報基盤実態調査の調査項目に対応した割合は下図のとおりである。

図 1 <B2 棟コモンズ TA が受けた相談の種類別割合>



最も多いのは「IT サポート」で、Word、Excel、PowerPoint 等のソフトウェアの操作方法のほかに、貸出 PC を利用しての無線 LAN 接続の質問対応が多く見られた。次に多い「その他」の内容は、ラーニングコモンズ内の施設利用（コピー機やプロジェクタ、後述する PC 自動貸出ロッカーの操作等）についての質問が多かった。文献検索やライティングについての質問は各 1 件と少なかった。

6. 学修支援環境の更なる整備に向けて

前述した『ラーニングコモンズ・貸出パソコンに関するアンケート』では、開室時間の延長や「PC を図書館カウンター以外でも貸出返却してほしい」等の要望があがっていた。PC の利用方法は、中百舌鳥キャンパス内では学術情報センター図書館（C5 棟）の開館時間中にカウンターでの貸出返却手続きによることとなっていたが、B2 棟ラーニングコモンズ内での PC 貸出を実現するために、PC 自動貸出ロッカーの設置運用を検討し、AP 事業予算により平成 27 年 3 月に 22 台分のロッカーを設置し、サービスを開始した。PC 自動貸出ロッカーの管理用端末は学術情報室内におき、学術情報室のシステム担当者と閲覧担当者が管理している。日々の対応や関連業務としては、返却督



促以外にプログラムの不具合等への対応、利用統計等である。また同4月からラーニング
 commonsの閉室時刻を 19:00 から 20:30 とし開室時間を延長（平成 28 年 4 月から 21:00
 に延長）するなど学修環境を更に整備した。

7. 今後の課題

commons TA による学修支援という試みの1年目が終わった。ラーニングcommonsの認
 知度をあげ、有効に活用してもらうための課題もみえてきた。また、図書館が学内の他部
 署と密に連携をとりながら行う事業でもあり、学術情報室のスタッフにとっても貴重な経
 験だった。次年度以降は、初年次生のレポート・プレゼン等に関する学修支援を目的とし
 たcommons TA が企画段階から関わるワークショップの開催等を検討する予定である。今
 年度の活動を総括し、また他大学の実践も参考にしながら、commons TA による学生の学
 修支援を効果的に実践していきたい。

参考資料

- 1) 「大学図書館の整備について：変革する大学にあって求められる大学図書館像」
 文部科学省
 http://www.japul.org/muuka89uj-20/?action=common_download_main&upload_id=849
 (accessed 2016.9.30)
- 2) 「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて」文部科学省
 http://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2012/10/04/1325048_1.pdf
 (accessed 2016.9.30)
- 3) 「学修環境充実のための学術情報基盤の整備について」文部科学省
 http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/031/houkoku/1338888.htm
 (accessed 2016.9.30)

以上

ラーニングコモンズ・貸出パソコンに関するアンケート

1. 学年（必須）
1年生～6年生、M1、M2、D1、D2、D3、その他
2. 所属（必須）
現代システム科学域、工学域、生命環境科学域、地域保健学域、
工学部、生命環境科学部、理学部、経済学部、人間社会学部、看護学部、総合リハビリテーション
学部、
工学研究科、生命環境科学研究科、理学系研究科、経済学研究科、人間社会学研究科、看護学研究
科、総合リハビリテーション学研究科
3. あなたが普段通学しているキャンパスを選んでください。（必須）
中百舌鳥キャンパス、羽曳野キャンパス、りんくうキャンパス
4. あなたが、学内でよく自主学習する場所を教えてください。（必須・複数回答）
☐図書館等 ☐ラーニングコモンズ
☐生協・シュライク等 ☐情報教育教室・オープンスペース
☐空き教室
☐その他学習スペース（ ）
☐その他（ ）
5. 4で「図書館等」と回答された方にお聞きます。
よく利用する図書館等を教えてください。（条件により必須・複数回答）
☐学術情報センター図書館 ☐経済・経営・法律系図書室 ☐ヒューマンサイエンス系図書室
☐羽曳野図書センター ☐りんくう図書室
6. 4で「ラーニングコモンズ」と回答された方にお聞きます。
利用頻度を教えてください。（条件により必須）
☐ほぼ毎日 ☐週1回程度 ☐月1～2回程度 ☐試験前の時のみ
☐その時々による
7. 4で「ラーニングコモンズ」と回答された方にお聞きます。
利用目的を教えてください。（条件により必須・複数回答）
☐グループ学習 ☐プレゼン練習 ☐レポート作成 ☐試験勉強
☐その他（ ）
8. 4で「ラーニングコモンズ」と回答された方にお聞きます。
ラーニングコモンズ内で、利用したことがある設備について教えてください。（条件により必須・複
数回答）
☐キャスター付ホワイトボード ☐ホワイトボード付カラーパーテーション
☐天井吊り下げ式プロジェクター・スクリーン
☐液晶ディスプレイ（B2棟ラーニングコモンズのみの設備）
9. ラーニングコモンズ内で、サポートしてほしいと思う学習支援は何ですか。（複数回答可）
☐レポート・論文などの書き方
☐授業のとり方やゼミの選び方

☐参考文献の調べ方や情報検索の方法

☐図書館の利用方法

☐コンピュータやソフトウェアの操作方法

☐その他 ()

10. 9 の学習支援の実現に向けて、学生スタッフを募集する場合、あなたは応募したいと思いますか。

(必須)

☐応募する

☐条件が合えば応募する

☐応募しない

11. 10 で「条件が合えば応募する」と回答された方にお聞きします。あなたが考える条件を具体的に教えてください。(100 文字程度)

()

12. 貸出パソコンサービスを利用したことがありますか。(複数回答可)

☐学術情報センター図書館で利用したことがある

☐羽曳野図書センターで利用したことがある

☐りんくうキャンパスで利用したことがある

☐利用したことがない

13. 12 で「・・・で利用したことがある」と回答された方にお聞きします。

利用頻度を教えてください。(条件により必須)

☐ほぼ毎日 ☐週 1 回程度 ☐月 1 ～ 2 回程度 ☐試験前の時のみ

☐その時々による

14. 12 で「・・・で利用したことがある」と回答された方にお聞きします。

利用目的を教えてください。(条件により必須・複数回答)

☐授業で使うため ☐レポート作成等のため ☐インターネットの利用のため

☐電子ジャーナル・データベース利用のため

☐その他 ()

15. 12 で「・・・で利用したことがある」と回答された方にお聞きします。

利用場所を教えてください。(条件により必須・複数回答)

☐図書館・専門図書室等 ☐ラーニングコモンズ ☐教室

☐生協・シュライク等 ☐その他 ()

16. アンケートに回答いただいた方の中から抽選で 14 名の方に、SUBWAY の SUBCLUB CARD (全国のサブウェイで利用可) をプレゼントします。当選された場合の連絡先(電話番号)を教えてください。

電話番号 ()

17. ラーニングコモンズや学習支援(貸出パソコン)についての要望や提案などありましたら、ご記入ください。(自由回答・200 文字程度)

()